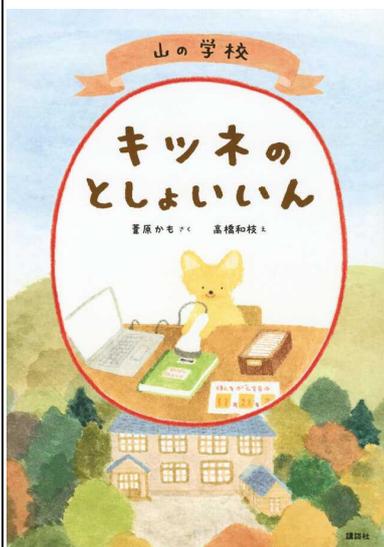




令和7年度

茨城県優良図書紹介【小学校低学年向け】

『山の学校 キツネのとしょいいん』 葦原かも/作、高橋和枝/絵（講談社）



「あのピツ、ピツていうの、どうしてもやってみたいのです」

バーコードの“ピツ”というよみとりをどうしてもやってみたいキツネの子

そのりゆうは・・・??

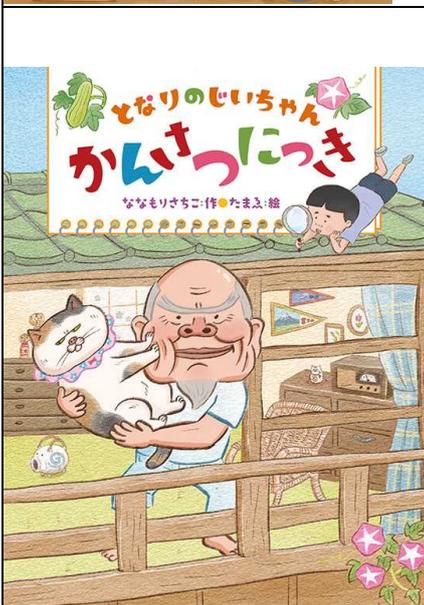
1ねんせいから1人でよめる心あたたまるエピソード



『スナックこども』

令丈ヒロ子/作、まつながもえ/絵（理論社）

ムカムカ、イライラ…みなさんはいやなことがあったときや、おとなへのふまんがあるときはどうしていますか？すきなものをたべたり、のんだり、ぐちをいったり、うたをうたったり…こどもだけがはいれる、すてきなばしょで、いっしょにスッキリしてみませんか？



『となりのじいちゃん かんさつにつき』

ななもりさちこ/作、たまえ/絵（理論社）

あさがおがかれてしまい、となりのあさがおをかんさつしたら・・・ あれれ、なんかとなりのじいさんあやしいぞ！

あやしいおじいさんとであい、かんさつのたのしさとにちじょうの小さなはっけんをまなんでいく、ユーモアとにんげんみあふれる心あたたまるものがたり。



『ライオンのくにのネズミ』

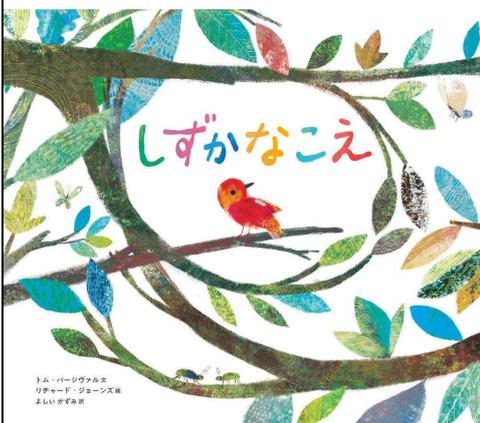
さかたくみ雪（中央公論新社）

おとうさんのてんきんでライオンのくににひっこしたねずみのかぞく。つかうことばも、しゅうかんも、からだのおおきさもちがうかれらは、わかりあうことができるのか…ちょっとの「ゆうき」や「やさしさ」で、みえるせかいがかわるかもしれないよ。

『「歩」が「と」に大へんしん！』 川北亮司/作、藤本四郎/絵（汐文社）



どうきゅうせいに「のろちび」「のろちび」とよばれ、いつもからかわれている歩（あゆむ）は、あるできごとをきっかけにだいへんしん！このほんをよんで、あなたも、あいてのひとがどうおもっているか、どうかんじているかをかんがえられる、やさしいじぶんにだいへんしんしてみませんか。



『しずかなこえ』トム・パーシヴァル/文、

リチャード・ジョーンズ/絵、よしいかずみ/訳（化学同人）

おともだちや、おうちのひと、せんせいに、じぶんのきもちをつたえるのはとくいですか？たとえちいさくても、おもいをのせたこえは、ときにせかいをかえるちからになる。あなたの「きもち」や「おもい」も、きつととどくよ。

『ねえねえ、なに見てる？』

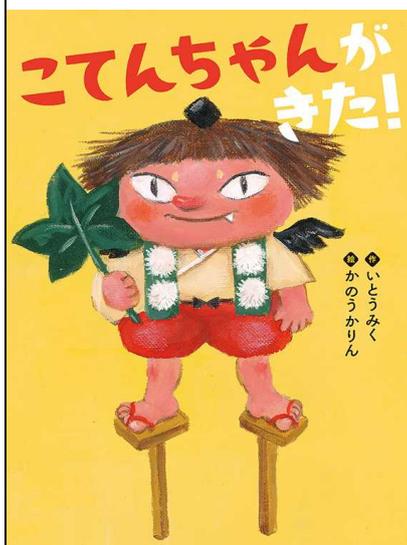
ビクター・バルモント/著、金原瑞人/訳（河出書房新社）



あなたがみているせかいは、おともだちやかぞくとおなじだとおもいますか？たとえば、あなたのおかあさんやおとうさん、おじいちゃんやおばあちゃんは、あなたとおなじものをみたとき、どんなふうにかんじているんだろう？

いろいろな「めにはみえないメガネ」をたいけんしてみよう！

『こてんちゃんがきた！』 いうみく/作、かのうかりん/絵（理論社）



「ちがう」がいろいろっておもしろい。「おなじ」もやっぱりおもしろい！じぶんとちがうところがいっぱいのおてんちゃんと、うまくやっていけるのかな？じぶんとちがうところがいっぴいのともだちとであい、いろいろなちがいがあることをまなんでいく。

『ひまりとふしぎなあの子』 深山さくら/作、北山優子/絵（岩崎書店）



ひばりの子そだてってすごい！

おばあちゃんをなくしたかなしみから立ちなおれなかったひまり。

ひばりの子そだてをかんさつするうちにまわりの人々とのつながりをふかめていく。

『ぼくは ぽんこつ じはんき』 由美村嬉々/文、山本久美子/絵 （あさ出版）



ぼくはぽんこつじはんき

1ぱいのうどん、そばをもとめて、きょうもまた、
たくさんの人たちがやってくる。

古いものやふかんぜんなものでも、あいじょうやおも
いをつうじて、かちをもつというメッセージをおく
る。

『スマイルサッカー』

ミッチーコーチ、杉山詩音/文、多屋光孫/絵 （合同出版）



だれでもさんかできる「スマイルサッカーきょうしつ」
にはいろいろな子がやってきます。きょうもみんないっし
よのたのしいれんしゅうがはじまる。

子どもといっしょに「しょうがい」をみぢかにかんがえ
るえほん。